## 令和6年度 法人本部 事業実績報告書

## 1 事業の実施状況

車 柴 佰 日	安/
尹 未 垻 ㅂ	天
事業概況	実 績  5類に移行して2年が経過する新型コロナウイルス感染症については、5類移行後も断続的に集団感染が発生する状況となっており、昨年8月に豊厚園で職員、利用者あわせて11名、11月には、厚真リハビリセンターで職員、利用者あわせて19名など集団感染が発生したが職員の適切な感染拡大防止対策により収束することができた。 また、12月には、厚真リハビリセンターで職員、利用者あわせて19名がインフルエンザによる集団感染が発生し、入院する利用者も出るなど、今後とも感染症による集団感染の防止対策を徹底し利用者様の安全・安心の確保に最善を尽くしていくことが重要であることを再認識した。新施設がオープンして4期目に入り、震災の影響により、利用者が激減した状況は利用率向上に努めてきた結果、少しずつではあるが利用率の向上が図られてきている。令和6年度は、過去の実績を踏まえ、高い目標を掲げて利用率拡大の取組みを継続してきた。最終利用実績(1日平均利用者数)は、厚真リハビリセンターの生活介護では、目標値を0.9名上回る47.9名を達成した。このほか、厚真リハビリセンターの施設入所では、46.3人、豊厚園で71.5名、あつまデイサービスセンターで8.4名、厚南デイサービスセンター(みんぐるを含む。)で12.2名となり、目標達成には届かなかったものの概ね前年度実績を上回る結果となった。その中で、豊厚園については、年度前半は高い利用率を維持していたが、年度後半は退所者が多い状況が続き、利用率が低下し10月には65.0名まで落ち込んだ。その後は、迅速に入所手続きを進め徐々にではあるが改善の方向に向かっている。このような利用状況の改善と退職した職員の補充を見合わせたことによる人件費の抑制などにより、光熱水費や食糧費などの物価高騰の影響はあったものの、令和6年度当期活動増減差額(当期純

事業項目	実績				
	損益)は▲5,451千円となり、令和5年度と比較し23,429千円の収支改善を図ることができたが、更なる収支改善に向けて利用率の向上と経費の節減に努めるよう職員一丸となって取り組んでいくこととした。職員の体制強化については、収支改善のため取り組んできた退職職員の不補充により、厳しい職場環境の改善と利用者様へのサービス提供の向上を目指して随時、職員採用を進めてきた。このことにより、令和7年度当初には、目標の職員採用を実現し、体制を強化することができた。給与面では、令和6年度においてベースアップは実施できなかったものの、期末勤勉手当の支給率を4.4月から4.6月に改正し給与の改善を図ってきた。また、令和7年度当初からの給料改定(ベースアップ)を図るため、給与規程の改定などを進め、特別休暇制度の創設など給与面及び職場環境の両面で改善に取り組んできた。				
経営理念	利用者の自己選択と自己決定を尊重し、個人の尊厳(個人の人格・人としての権利) に配慮した良質かつ安全・安心なサービスを提供する社会福祉事業の経営に努めた。				
経営の基本 (1) 利用者の自立支援	利用者一人ひとりの尊厳を尊重し、「利用者や家族が希望するサービス」を個々人の障がい特性や要介護度に応じて、個別支援計画や施設サービス計画を策定し、専門的支援を行い、利用者が安全で安心して楽しい生活ができる施設・事業運営に努めた。				
(2) 健全経営の実現	法人の主体性と自立を高め、社会規範を遵守し、社会福祉事業の 主たる担い手にふさわしい適正な法人運営に努めた。 また、事業や予算の重点化、効率化、収入の確保を進め、安定した 経営や活力のある経営に努めた。				
(3) 職場環境の充実	北海道厚真福祉会・社会福祉施設・職員が果たすべき役割の認識を高め、必要職員の配置、専門的な知識や技術の向上、職員待遇の向上に努め、誇りをもって働くことができる魅力ある職場環境づくりに努めた。				

### 事 業 項 目

実 績

(4) 地域社会への貢献

利用者や家族、厚真町民などに対して、身近にある福祉サービスの要の役割を果たし、地域にとって必要不可欠な存在となる活動に努めた。

## 重点目標

(1) 年間利用者目標

(単位:名)

		定	延	べ利用者	 数	7	<u> </u>	    者数
事	事業所名		目標	実績	達成率	目標	実績	増減
厚真	生活 介護	50	12, 643	12, 870	101.8%	47	47.9	0.9
リハ	施設 入所	30	17, 155	16, 914	98.6%	47	46. 3	△ 0.7
	短期 入所	2	365	501	137.3%	1	1.4	0.4
豊厚	特養	80	27, 375	26, 095	95.3%	75	71. 5	△ 3.5
園	短期 入所	7	1,095	726	66.3%	3	2. 0	△ 1.0
あっディ	つま イ	18	3, 070	2, 569	83.7%	10	8.4	△ 1.6
厚厚	厚南デイ		3, 684	3, 568	96.9%	12	11.6	△ 0.4
みんぐる		18	307	217	70.7%	1	0. 7	△ 0.3
あ <sup>^</sup> 居 <sup>2</sup>	つま 宅	_	480	401	83.5%	40	33. 4	△ 6.6

## (2) 事務局 総務課

- ・社会規範を遵守した効率的、効果的な法人・施設運営に努めた。
- ・ホームページ等を活用し、法人・施設運営に関する情報公開に努めた。
- ・地域公益活動事業を推進し、在宅の高齢者等の随時支援(件数: 0件)に努めた。
- ・将来の施設運営を担う人材育成の研修(キャリアパス)等を実施した。

事業項目	実 績
7 A A	新規採用職員研修の実施(随時) 施設内外研修等の実施(随時) ・職員待遇の改善を推進した。 令和6年2月~5月まで介護職員等処遇改善支援補助金を活用し、介護職員等処遇改善手当(2)を支給した。 令和6年4月~5月まで介護職員処遇改善手当、介護職員等特定処遇改善手当、介護職員等処遇改善手当(1)を支給した。 令和6年6月から介護報酬改定に伴い、介護職員処遇改善加算が一本化され、介護職員等処遇改善手当を支給した。 令和6年6月から介護報酬改定に伴い、介護職員処遇改善加算が一本化され、介護職員等処遇改善手当を支給した。 令和6年人事院勧告に伴い期末・勤勉手当を4.4か月から0.2か月増額し4.6か月で支給した。 利用者数に応じた介護・支援職員体制の確保に努めている。 ・全職員が各自の役割、責任に基づいた法人運営、施設サービスに努めた。 ・予算の適正な執行及び経営の安定化 障害福祉サービス等報酬・介護報酬改定、新施設整備資金借入金返済計画に基づいた予算の編成と効率的な執行に努めた。 利用者定員充足率の向上及び各種経費の節減に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症に係る感染防護服等の備蓄及び基本的感染防止対策の徹底に努めた。
(3)事務局 事業運営課	<ul><li>・個別支援計画・介護サービス計画策定会議を開催し、サービス提供に関する指導を実施した。(毎月)</li><li>・各種委員会の運営に関する指導を実施した。(毎月)</li><li>・地域のボランティア等諸団体との連携に努めた。(随時)</li></ul>
(4) 各種委員会 ① 事故防止委員会	<ul><li>・事故防止委員会を開催(毎月)し、転倒、転落、誤薬等の事故の 検証と再発防止対策等を実施した。</li></ul>
② 感染症対策委員会	・感染症対策委員会を開催(6、7、8、9、10、11、12月) し、新型コロナウイルス等の感染症発生予防対策、蔓延防止対策 を実施した。 ・長期にわたり感染対策を強化してきたが、令和5年5月8日以降、

事業項目	実 績
	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」感染症に変更されてから約1年が経過し、当法人の現状の感染対策の課題をふまえ、利用者、家族の生活の質の向上を目的とし、感染対策の緩和を検討した結果、令和6年7月16日から外出、理容サービスを再開した。
③ 防災対策委員会	・総合避難訓練を2回実施(5、3月)し、防災対策を実施した。 夜間参集訓練を(10月)に実施し、救急処置(AED)、BCP、 自然災害の対応について研修を実施した。
④ 苦情解決委員会	・利用者、家族等からの苦情・要望に対し、真摯に受け止め、解決に向けて誠実かつ適切な対応を実施している。(苦情件数:1件)
⑤ 権利擁護・虐待防止 委員会	・利用者の権利擁護対策、虐待防止対策を実施した。 権利擁護の意識向上、虐待を生まない風土作りを目的に虐待チェック調査(11月)や研修会(3月)を実施した。
⑥ 給食運営委員会	・給食運営委員会を開催(毎月)し、利用者の状況に対応した食事、 季節感に富んだ食事、嗜好調査結果に基づいた食事の提供をし た。
⑦ 特別委員会	・特別委員会を開催(随時) し、法人全体行事(納涼の会、秋の味 覚会、もちつき)の企画、運営や介護支援専門員試験対策勉強会、 職場内研修を実施した。
⑧ 広報委員会	・ホームページや「厚真福祉会だより」の発行(4、7、10、1月)を通じて、厚真町民やご家族に対し、利用者の近況報告や法人のPR等を行った。
⑨ 衛生委員会	・衛生委員会を開催(毎月)し、職員の安全と健康の確保、職場環境の改善を推進した。

## 2 法人役員・評議員の状況(令和7年3月末日現在)

役員任期 : 令和5年6月21日~令和7年6月定時評議員会終結時 評議員任期: 令和3年6月21日~令和7年6月定時評議員会終結時

定数 : 理事6名 監事2名 評議員7名 評議員選任解任委員3名

## (1) 法人役員(理事・監事)

役職名		氏	名	当初就任年月日	職業	推薦団体	備考	
理事長	理事長 近藤 泰行		令和3年6月21日	前厚真町副町長	学識経験者			
常務理事	<b>⊨</b>	小田	千秋	令和3年6月21日	北海道厚真福祉会	北海道厚真	R6. 6. 20	
市务生	F	小,田	1 121		施設長	福祉会	辞任	
常務理事	<b>F</b>	吉田	良行	令和6年6月20日	北海道厚真福祉会	厚真町	R6. 6. 20	
市务连	F	ΠШ	及11	节和6年6月20日	センター長		新任	
畑 市	<del>,</del>	加茲	古フ	令和5年6月21日	無職	厚真町民生児		
上 生 ま	理 事 加藤 恵		恵子	7 和 3 平 0 月 2 1 日	<del>然</del> 鄉	童委員協議会		
理事	<b>F</b>	高田	芳和	令和3年6月21日	厚真町議会議員	学識経験者		
						とまこまい広域	とまこまい広	
理事	<b>‡</b>	兵頭	利彦	令和3年6月21日	農業協同組合	域農業協同組		
					前常勤監事	合		
理事	<del>,</del>	山野丁	一誠	令和3年6月21日	厚真町社会福祉	厚真町社会福		
上连	<b>}</b> -	山野门	、	744340月21日	協議会 事務局長	祉協議会		
監 事	<u></u>	金子	洋巳	令和元年6月11日	会社員	学識経験者		
監事	Ŧ.	<i>什</i>	nn <del>Y:</del>	令和3年6月21日	厚真町交通安全推	学識経験者		
血 事	i <sup>*</sup>	佐藤 照美			進委員会 推進員			

## (2) 評議員

役職名	氏	名	当初就任年月日	職業	推薦団体	備	考
評議員	加藤	昌實	令和3年6月21日	無職	新町自治会		
評議員	河村	忠治	平成31年1月22日	農業	厚真町老人クラブ		
計議貝	刊刊	1077日	平成31平1月22日	辰未	連合会		
評議員	高橋	康夫	夫 令和5年8月21日	<del>加</del> 啦	厚真町社会福祉		
<b>叶</b> 娥只	同備	承入	77413年0月21日	無職協議会			
評議員	寺坂	文秀	平成29年4月1日	会社社長	厚真福祉会家族会		
評議員	宮西	純子	λ π ο π ο Π ο 1 Π	農業	とまこまい広		
計議貝	古四	<b>邓电</b> □□□	令和3年6月21日	辰未	域農業協同組合		
評議員	~	、 昭子	平成17年8月1日	细形址	厚真町婦人団体		
計職貝	藤本			無職	協議会		

役職名	氏 名	当初就任年月日	職業	推薦団体	備	考
<b>亚苯</b> 目	山口 洼)	△和9年6月91日	4m; m2h;	厚真町身体障害者		
評議員	山口清	任   令和3年6月21日	無職	福祉協会厚真支部		

## (3) 評議員選任解任委員

役耶	<b></b>	氏 名		氏 名		氏 名		氏 名		氏 名		氏 名		氏 名		氏 名		当初就任年月日	職業	備	考
委	員	中田	元次	令和3年6月21日	無職	元法人監事															
委	員	金子	洋巳	令和3年6月21日	会社員	法人監事															
委	員	三浦	康弘	令和3年6月21日	北海道厚真福祉会	前豊厚園長	R7.3.25辞任														
委	員	中島	巧	令和7年3月25日	北海道厚真福祉会	豊厚園長															

## (4) 顧問

役職名	氏 名	当初就任年月日	職業	備考
顧問	大西 武雄	平成29年6月13日	無職	元理事

## 3 理事会及び評議員会の開催状況

## (1) 理事会

区分	開催日	開催場所	総数	出席数	主	な	議	題
第1回	R 6. 5. 28	福 祉 センター	6	6	状況報告、 5年度決算 設長等の選	監査報告、 算報告、給 選任及び解	常務理事の職 5年度事業等 与規程の一部 任、常務理事 、定時評議員	実績報告、 3改定、施 辞任に伴
第2回	R 6. 6. 2 0	福 祉 センター	6	6	選任された	た役員につ	いて、常務理	事の選定
第3回	R 6.8. 6	福 祉 センター	6	5			常務理事の職 、臨時評議員	
第4回	R 6. 1 1. 2 9	福 祉 センター	6	6	支報告・年 務理事の駅 給与規程の	三間収支決 強務の執行 つ一部改定	業実績報告、 算見込み、理 状況報告、監 、就業助成金 規程の制定	事長・常

区分	開催日	開催場所	総数	出席数	主	な	議	題
第5回	R 7.3.25	厚 真福祉会	6	6	状況報告、 算、7年度 就業規則の メントの 程の一部改 の一部改定、 パス制度	監査報告、 事業計画、 の一に関する 防止に育児休 定、介護休業 に 給 要綱の一	務理事の職 6年度第1 7年度資金地 3規程等にのに 5 5 7年場にのに 5 7年場にのに 7 7年場にのに 7 7年場に 7 7年場に 7 8 7年場に 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	次支ので、するに、するに、するので、数は、までので、数は、までので、ないでは、までいる。これでは、までは、までいる。これでは、までいる。これでは、までいる。これでは、までいる。これでは、までは、までいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、

## (2) 評議員会

区分	開催日	開催場所	総数	出席数	主	な	議	題
定時	R 6. 6. 2 0	福 祉 センター	7	5	6年度事	事業報告・事業 事業計画及びり 務理事辞任に	又支予算、5	年度決算
第1回 臨 時	R 6. 1 1. 2 9	福 祉 センター	7	5		事業報告・事業 年間収支決算		

## 4 監事等による監査実施状況

## (1) 監事

区分	監査月日	監査対象期間	主な議題	改善意見
			5年度事業報告・各会計資金収	適正
<b>学</b> 1同	R 6. 5. 1 7	5 年度事業・会計全般	支計算書・事業活動収支計算書・	
第1回	K 0. 5. 1 7	3 午及尹耒·云訂王叔	貸借対照表・財産目録、利用者の	
			金銭等管理	
笠 0 同			6年度事業運営·各会計経理·資	適正
第2回	R 6.7.22	6年度第1・四半期	産管理	
<b>生</b> 0日			6年度事業運営·各会計経理·資	適正
第3回	R 6. 1 1. 1 9	6年度第2・四半期	産管理、利用者の金銭等管理	
笠 4 同	R 7. 2. 2 6	6. 左 庄 笠 9 .	6年度事業運営·各会計経理·資	適正
第4回		6年度第3・四半期	産管理	

## (2) 公認会計士

区分	監査月日	監査対象期間	主な議題	改善意見
			5年度各会計資金収支計算書・事	適正
第1回	R 6.5.20	5年度会計全般	業活動収支計算書・貸借対照表・	
			財産目録	
			6年度上半期各会計資金収支計	適正
第2回	R 6. 1 1. 2 2	6年度上半期会計全般	算書・事業活動収支計算書・貸借	
			対照表	

### 施設名 厚真リハビリセンター

### 事業項目

実 績

### 事業方針

法人の経営理念に基づき、安全・安心なサービスの提供に努めるとともに、健康の維持・増進、日常生活能力の維持・向上、創作活動の充実・活性化等の自立支援の向上に努めた。

将来の安定的な運営に向けて、身体・知的・精神の3障がいに 対応できる専門知識と支援技術の習得・向上を図るための職員研 修を実施した。

施設の概要や支援体制等について、行政や医療機関、相談支援 事業所等の関係機関に対し積極的な情報提供を行い、相互関係を 図りながら、利用者の定員充足率の向上、ショートステイの利用 拡大に努めた。 新型コロナウイルス等の感染症から利用者を守るため、基本的感染対策と日常的な健康観察を徹底し、感染症の早期発見と監視体制の強化に努めるとともに、利用者の権利をとともに、利用者の権利をともに、利用者の権力をといるともに、利用者の権力をといるといるといるといるといるといるといるといるといるという。

新型コロナウイルス等 感染対策を実施していたが、感染症(新型コロナウイルス感染の感染症から利用者を守 症、インフルエンザ感染)が発生し終息に努めた。

### 【新型コロナウイルス感染】

令和6年11月24日~12月11日(18日間) 利用者 15名 職員 4名

### 【インフルエンザ感染】

令和6年12月23日~令和7年1月7日(16日間) 利用者 13名 職員 6名

職員研修を行い、利用者の権利擁護、虐待防止に努めた。

### 重点目標

 個別支援計画(ケア プラン)に基づく個々 の障害特性に対応した 適切なサービスの提供 サービス管理責任者が中心となり、利用者の自己選択・自己決定 を尊重した「個別支援計画」を作成し、利用者のニーズに沿ったサービスの提供に努めた。

利用者の健康とADLの維持・向上を目的とした活動支援を行うと共に、生きがいや楽しみとなるレクリエーションや創作活動等の日中活動支援の充実を図った。

【個別支援計画・機能訓練実施計画策定会議実績】 計105名

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人 数	8名	8名	8名	12名	6名	9名
開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0名	10名	0名	18名	11名	15名

【栄養ケア計画策定会議実績】 計101名

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	13名	8名	8名	11名	6名	9名
開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0名	7名	0名	17名	8名	14名

地域移行を希望する利用者に対して相談支援事業所と連携し、必

事業項目			績
		セスメントとエンパ 施した。	プロメントの視点を持ち、地域との関わ
<ul><li>2 利用者の自立支援と 地域移行を目指した生 活支援</li></ul>	エンパ		者に対して生活能力のアセスメント、 行って相談支援事業所との連携など地 。
3 食事の提供	作成し、 嗜好 た。	、栄養マネジメント 調査を3月に実施、	いただく為の「個別栄養ケア計画」を を実施した。 利用者の意見等をメニューに反映し 旬の素材を使った食事を提供した。
	月	メニュー名	提供内容
	4	春の味覚料理	山菜おこわ、お吸い物、天ぷら、菜の 花のお浸し、いちごババロア
		端午の節句	天丼、がんもの煮物、錦糸和え、抹茶 ババロア
	5	母の日	ちらし寿司、お吸い物、炊き合わせ、 ほうれん草のアーモンド和え、青りん ごゼリー
	6	父の日	赤飯、すまし汁、鶏肉のみぞれがけ、 人参きんぴら、ほうれん草の和え物、 フルーツカクテル
	7	土用の丑の日	うな丼、お吸い物、冷や奴、漬物、 オレンジゼリー
		法人認可記念日	赤飯、すまし汁、鶏肉の照り焼き、いんげんのツナマヨ和えまいか

8

9

焼き肉の日

サマーフェスタ

いんげんのツナマヨ和え、すいか

おにぎり、ジンギスカン、焼き鳥、

焼きそば、お好み焼き、フランクフ ルト、海藻と大根のサラダ、オレン

つくね、キムチ、アイス

ジゼリー

事業項目		実	 績				
		T					
	月	メニュー名	提供内容				
	$\begin{vmatrix} 1 & 0 \end{vmatrix}$	  バイキング食	きのこご飯、石狩汁、天ぷら、サイコ				
		, 1 (V) K	ロステーキ、もやしの和え物、柿・梨				
	1 1	  海鮮丼の日	海鮮丼、お吸い物、茶碗蒸し、もや				
		113-1111 12 13	しのナムル、オレンジゼリー				
	$\begin{vmatrix} 1 & 2 \end{vmatrix}$	   クリスマス会	握り寿司、お吸い物、揚げ物4点盛				
		7 7 7 7 7 2	り、みかん				
			ご飯、お吸い物、鶏肉のさっぱり				
	1	お正月料理	煮、筑前煮、刺身盛り合わせ、青り				
			んごゼリーホイップのせ				
			のり巻き、いなり寿司、具沢山汁、				
		節分	茶碗蒸し、大豆五目煮、抹茶ババロ				
	2		<i>P</i>				
		   餃子の日	ご飯、焼き餃子、きゅうり漬・キム				
			チ、はっさく				
	3	ひな祭り	ちらし寿司、お吸い物、炊き合わ				
			せ、茶碗蒸し、いちごババロア				
	供に努力用力	めた。 (39名延べ 者に食事の大切さや)	栄養に関する興味と知識を持ってもら 由来等を記載したポスターやチラシを				
4 機能訓練の実施	利用者の心身の状況に合わせた「個別機能訓練計画」を作成 し、身体機能の維持と日常生活能力の向上に繋げるための訓練を 実施した。 訓練士と生活支援員等で集団リハビリを実施し、利用者の活動 性向上に努めた。						
5 感染症防止対策と健 康管理の取り組み	新型コロナウイルス感染症等から利用者を守るため、利用者、 職員、家族、外部関係者等に対する基本的感染防止対策を徹底に 努めるとともに、ワクチン接種を希望する利用者(保護者)に対 し、円滑に予防接種が受けられるよう支援に努めた。						

事 業 項 目	実 績							
	行政の示す入所施設等の感染対策の指針に則りつつ、利用者、家族のニーズの尊重およびQOL向上に配慮した支援に努めた。 年2回の定期健康診断、定期検査(採尿・採血)を9月、3月に実施した。 二次性疾患(既存の疾患の憎悪やそのことで新たに発生した疾患)の早期発見の為に、日々の健康状態の把握と精神的な支援を行った。 また、長期臥床による身体機能低下(特に循環障害や褥瘡等)の予防のため、離床支援に努めた。 嚥下機能低下に伴う誤嚥性肺炎の予防を考慮した口腔ケアと低栄養、脱水等を防止するための摂食・嚥下ケアを実施した。							
6 協力病院・その他の医療機関との連携	利用者の急変等による協力病院等の医療機関への受診・入院や往 診、迅速な対応と医師等への情報提供に努めた。							
7 権利擁護・虐待防止の取り組み	利用者の権利を擁護し、虐待や不適切ケアを未然に防止するための職員研修等を5月、11月(同月に2回)に実施した。権利擁護についてのアンケートを11月に利用者、職員に実施。集計結果を周知し、自分たちの支援がどのように捉えられているかを知り、権利擁護の質向上に努めた。職員倫理綱領に基づき、職員一人ひとりが高い倫理観を持ち、利用者やその家族の方々の信頼獲得と秘密保持に努めた。							
8 ヒヤリハット・事故 防止の取り組み	利用者一人ひとりの心身の状況を的確に把握した支援体制を構築 し、事故の未然防止に努めた。 事故が発生した場合は、速やかに対応し、その検証結果を職場全 体で共有し、再発防止に努めた。							
9 利用者・家族からの 要望、苦情相談等	利用者やその家族からの要望や苦情相談等に対し、真摯に受け止め、迅速かつ適切に対応した。(苦情、苦情相談件数:0件) 【オンライン面会】オンライン面会件数 0件							
	月     4月     5月     6月     7月     8月     9月     計       件数     0件     0件     0件     0件     0件     0件							

事業項目			, 3	実	績	<b>i</b>		
	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	件数	0件	0 件	0件	0件	0件	0件	0件
	【分面面	[今] 而今	: 件数 / 面:	<b>全者数</b>	279件	:/406:	名	

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
件数	33件	38件	33件	38名	32件	22件	196件
人数	5 5 名	5 5 名	45名	50名	56名	3 2名	293名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	17件	14件	16件	9名	15件	12件	83件
人数	26名	17名	19名	12名	20名	19名	113名

評価実施

10 福祉サービス自己 11月に障がい福祉サービスに対する自己評価を実施した。

11 職員研修の充実

職員の資質向上と能力開発を目指すとともに、支援者としての強い 使命感を持つ職員の育成を図ることを目的として、職員研修の充実に 努めた。

災害、感染症対策、権利擁護・虐待防止等に関する必要な研修会を 実施した。

## 【内部研修実績】 計 318名

実施月日	研 修 名	人数
6月 1日	緊急時の対応について	24名
~15目	※心時の対応について	247
5月28日	第1回事故防止に関する研修	29名
~ 6月11日	『危険予知トレーニング』	2 9 泊
7月 1日	第1回精神・知的・発達障害に関する	23名
~15目	研修	23/1
7月12日	第1回メンタルヘルス・ストレスコー	
	ピング・アンガーマネジメントに関す	22名
~ 8月20日	る研修	
9月23日	第1回感染対策について	26名
~10月28日	労工 四窓朱刈水に ブバー	20泊

#### 事業項目 実 績 実施月日 研修名 人数 11月 6日 第1回権利擁護に関する利用者及び 30名 職員アンケート ~11月20日 11月16日 第2回権利擁護・虐待防止について 30名 ~11月30日 (不適切ケア) 11月22日 | 第2回権利擁護・虐待防止について 22名 ~11月30日 (ハラスメント) 2月17日 第2回精神・知的・発達障害に関する 30名 研修 ~ 3月21日 第2回メンタルヘルス・ストレスコ 2月24日 ーピング・アンガーマネジメントに 30名 ~ 3月20日 関する研修 第2回事故防止に関する研修 26名 3月10日 『危険予知トレーニング』 第2回感染対策について 26名

## 【外部研修実績】 計 11名

実施月日	研 修 名	人数
7月29日	さぽゼミ研修会「発達障害について話	4名
77291	そう」	4 /1
11月11日	身体障害者福祉施設職員研修会	3名
1月22日	感染症对応力向上研修	1名
1月24日	胆振圈域福祉人材育成講座	1名
2月15日	胆振圈域福祉人材育成講座	1名
2月25日	身体障害者福祉施設研究セミナー	1名

### 施設名 豊厚園

事業項目

### 実 績

### 事業方針

特別養護老人ホーム 豊厚園は、法人の経営理 念に基づき利用者とご 家族の皆様に安心・安全 なサービスを提供する ため、常にサービス内容 の点検を実施し、安定し た最良のサービス及び 地域の多様なニーズに 即したサービスが提供 できるよう関係団体と 連携を図ります。また、 災害や感染症対策を強 化するとともに、利用者 が笑顔で健康的に毎日 を過ごせるよう運動プ ログラムや余暇活動な ど特色あるサービスを 提供します。

特別養護老人ホーム豊厚園の利用者が穏やかで安心した生活を送る ことができるよう職員一人一人が、真心のこもった肌理細かなサービ スの提供に取り組んだ。

また、自宅等での生活が困難となった入所希望者を関係団体や医療 機関等と連携し入所の支援を実施した。

### 重点目標

1 感染予防対策に関する取組

・法人内の感染症対策委員会と連携し感染対策に努めた。

令和6年8月16日、ショートステイ利用者が帰宅後に発熱し新型コロナウイルス感染症に罹患していたことが発覚。その後、職員2名、豊厚園利用者が9名罹患した。

多職種による感染症対応により9月25日に収束した。

2 利用者の尊厳に配 慮したサービスの提 供 ・サービス計画書に基づき、介護(身体介護、余暇活動等)・看護(健康管理、救急時対応等)・栄養管理(嗜好調査、治療食提供等)・訓練(個別、集団訓練の実施等)・相談(利用者及び家族からの施設

事業項目			<u> </u>	₹	 績		
	ス 自 身 が が 新 里 及 新 型 及 で の 型 で の	是供した。 で決定する できるよう 意向を反映 コロナウイ	ことが可 支援した。 したサー ルス感染 施し利用	能な利用者 。また、自 ビスを提供 症やその他	fに対して  己決定が   はした。  1の感染予	は、自己選 困難な利用	各種サービ 択・自己決 者には、家 ながら、外 つた。
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	件数	0件	0件	0件	4件	20件	3件
	月	10月			<u> </u>	2月	3月
	件数	10件	101	牛 7 件	1 4 4	7件	15件
		面会】面会		•	-		
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	人数月	•	•	289名	-	194名	119名
	人数	10月	11月	12月	230名	2月	291名
3 安心・安全な生活環境の提供							
4 自己決定権に配慮したサービス提供	検し 各種サ ・食事	引題箇所に ービス提信 内容につい	ついては 共に係る意 て、管理	改善した。 京思確認 栄養士が系	用者から		がないか点 りするほか 供した。

映されるよう積極的に取り組んだ。

また、行事食や選択性献立の希望を聴取し利用者の個々の希望が反

		の字歩され	実		績		
		3字歩 そか					
7	だ。	子肥 され	る行事を	案内し、ネ	希望者が参	かできる	よう取り組
Į.	・サービス担当者会議の結果を基に個々のサービス計画書を作成し、より 良いサービス提供に取り組んだ。 【サービス担当者会議実績】計307件						
画書の立案・実践の	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
取り組み	件数	27件	28件	23件	26件	29件	18件
	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	件数	25件	31件	22件	25件	31件	22件
術の向上を図る計			三参加し、 延べ68		哉と技術の	)向上を図	った。

実施月日	研 修 名	人数
5月15日	看取り介護研修	19名
6月28日	事故対策研修	13名
7月16日	認知症に関する研修	9名
12月 4日	新規採用職員研修会	1名
1月 4日	新規採用職員研修会	3名
1月15日	新型コロナ・感染性胃腸炎	5名
3月26日	虐待防止・権利擁護・感染症BCP研修	18名

## 【外部研修】 11件 延べ22名

実施月日	研修名	開催地	人数
4月 8日	医療従事者を対象とした	オンライン	5名
~ 30目	感染症対応力向上研修	A > /1 >	9名
5月24日	安全対策担当者養成研修	オンライン	9 A
~8月30日	女生对束担ヨ有食成研修	A 2 ) 1 2	2名
7月18日	危険物取扱者保安講習	苫小牧市	1名
0.8108	9月10日 北海道高齢者虐待防止推進		2 A
9月10日	研修会 (施設編)	オンライン	3名

事 業 項 目	実 績				
	実施月日	研修名	開催地	人数	
	8月 9日 ~9月30日	看護師専門研修	オンライン	1名	
	10月17日 24日	排泄ケアセミナー	オンライン	3名	
	10月25日	栄養士専門研修	オンライン	1名	
	11月29日	日胆地区老人福祉施設職員 研修会	苫小牧市	1名	
	12月13日	「風水害24」防災講座	厚真町	1名	
	1月22日	感染症対応向上研修	苫小牧市	2名	
	1月24日	老人福祉施設長研究セミナー	オンライン	2名	
践 8 権利擁護・虐待防 止の取り組み	実施するため、フロアごとに利用者特性に応じたサービスを提供した。外部から講師を招き、認知症に関する研修会を実施した。  ・権利擁護と虐待防止に努めた。 職員のストレスチェックを10月に実施した。 職員及び利用者を対象に虐待に関する調査を10月に実施した。				
9 相談・苦情対策	<ul> <li>・相談しやすい環境を整え、苦情の申し出に対して対応した。</li> <li>利用者の家族から面会時の対応について苦情が寄せられた。</li> <li>【内容】</li> <li>面会時に利用者の服装が乱れていた。また、利用者に対して職員の口調が強く情けない気持ちになった。</li> <li>【対応】</li> <li>ミーティング、会議で全職員に内容を周知し注意喚起。</li> <li>当該職員に対しでは面談し内容確認のうえ指導。苦情申出人に職員に対しての指導を行ったことを報告し謝罪。苦情終結となった。</li> </ul>				
10 サービス自己評価の実施	・良質なサービスを継続し提供するために、総合的なサービス評価を11月に実施した。				

事業項目	実 績
11 防災対策への取り組み	・防災意識の向上を目的に災害に関する基礎知識の習得や防災対策全線 の意識向上に取り組んだ。
<i>,</i> ,,— ,	実施月日    訓練内容
	5月22日 総合避難訓練(火災想定)
	10月30日 夜間参集訓練、BCP訓練
	3月 5日 総合避難訓練(自然災害)

## 施設名 あつまデイサービスセンター

#### 績 事業項目 実

### 事業方針

あつまデイサービスセンターでは、利用者が安全 で安心できる日常生活を営むことができるよう利用 者や家族のニーズに応じた自立支援を行なうため実 状に即したサービスを提供します。

また、感染症の予防対策を継続するとともに、利用者 にとって良質なサービスを提供するため、家族等と 情報交換するほか、全職員が介護の知識と技術を高 | 利用者数 8.4名 (1日平均) め専門性のある支援が実践できるよう人材育成に取 り組みます。

重点目標

- 1 通所介護、第1号通所事業の提供
- (1) 通所介護計画書及び第1号通所介護計画書 の作成並びにサービスの提供
  - ① ケアプラン会議の開催(経過状況及び評価 検討の実施)

慣れ親しんだ町で在宅生活を送ること ができるよう利用者の自立を目的とした 個別ケアに取り組んだ。

営業日 月~土曜日 週6日 時 間 10時00分~15時30分 登録者 34名

・ケアプラン会議の開催 利用者個々の介護予防等の計画を作成 した。

## [開催状況]

LDI IE VI			
月	件数	備	考
4月	1件	〔会詞	議参加者数〕
5月	1件	5名	(デイ職員)
6月	1件		
7月	1件		
8月	1件		
9月	1件		
10月	1件		
11月	1件		
12月	1件		
1月	1件		
2月	1件		
3月	1 件		

事業項目		実	糸	責
	月	件数	備	考
	合計	12件		

② サービス担当者会議等で、必要な情報の収集と提供

サービス担当者会議等を開催し利用者の 自己選択と自己決定を尊重したサービス 計画を作成し、計画に沿ったサービスを 提供する外、利用者の情報提供に努めた。

## [開催状況]

	ĽJ	
月	計画作	参加者
	成数	
4月	3名	(本人、家族、介護
5月	4名	支援専門員、地域
6月	3名	包括支援センター
7月	4名	職員、関係事業所
8月	6名	職員等)
9月	6名	
10月	7名	
11月	10名	
12月	5名	
1月	5名	
2月	5名	
3月	6名	
合計	64名	

- (2) 機能訓練によるADLの維持・向上支援
  - ① 居宅サービス計画書及び介護予防計画書に基づく支援の実施。

利用者の日常生活動作(ADL)が維持され、安定した生活を送ることができるよう居宅サービス計画書や介護予防計画書に基づき利用者が取り組みやすいゲーム等や歩行訓練に取り組んだ。

② 関係機関と連携し個々の機能に応じたサ

利用者、家族や担当ケアマネから通院

事 業 項 目	実績
ービスを実施。	や服薬の心身状況に関する情報を収集し健康管理に努めた。
2 個別ケアへの取り組み (1) 個別ケア ① 利用者を適切に支援することを目的に利用者個々の情報を共有する共有会議を定期的に開催する。	利用者個々の日常生活動作 (ADL) や 身体状況の変化等について、職員間で情報を共有するため定期的に会議を開催 (職員間での情報共有) する外、必要の都度、会議を開催する等、全員が共通の認識で対応した。 定例会議 毎月1回 参加者 あつまデイ職6名
② 利用者の特性に応じたコミュニケーション技法の統一化を図る。	利用者が職員に心を開きやすく、何より も安心して過ごせるよう利用者に対する 職員のコミュニケーション方法を統一し て、対応した。
③ 認知症ケアに関する施設内研修会を開催する。	職員個々が認知症ケアに対して、統一的な考えの下にチームケアを行うことが 肝要であるため、施設内で認知症ケアに 関する勉強会の開催を企画している。 参加職員数 4名 実施日 7月18日(木)
(2) アクティビティの取り組み 個別の通所介護計画書に基づき、個別又は小集団活 動等の機会を提供します。	[実施状況]       月 内 容       調理レク、輪投げ、缶つり、玉       4 入れ、スカットボール、ブロンゴゲーム

事 業 項 目		実績
	月	内容
		ブロンゴゲーム、ゲーゴール
	5	ゲーム、ピンポン缶、輪投げ、
		ボーリング
		ボーリング、缶釣り、玉入れ、
	6	ブロンゴゲーム、スカットボ
		ール
		夏祭り、スカットボール、ピン
	7	ボン缶、輪投げ、ゲーゴールゲ
		ーム、ボーリング
		缶釣り、玉入れ、ブロンゴゲー
	8	ム、スカットボール、ピンポン
		缶
	9	敬老会、輪投げ、ゲーゴールゲ
		ーム、ボーリング、缶釣り
	10	ゲーゴールゲーム、缶つり、玉
		入れ、ブロンゴゲーム
	1 1	スカットボール、ピンポン缶、
	1 1	輪投げ、ゲーゴールゲーム
		クリスマス会、ボーリング、玉
	1 2	入れ、ブロンゴゲーム、スカッ
		トボール、ピンポン缶
	1	ピンポン缶、ゲーゴールゲー
	1	ム、缶つり、玉入れ
	2	節分、ブロンゴゲーム、スカッ
	2	トボール、ピンポン缶、輪投げ
	3	輪投げ、ゲーゴールゲーム、缶
	J	つり、玉入れ、ブロンゴゲーム

## 3 健康管理について

- (1) 必要に応じて情報を収集(通院、服薬状況、 治療経過、自宅環境、記録の整備)し、健康管 理に努めます。
- (2) 利用日に体調を確認し、利用者の健康管理に

感染症の予防対策として、迎え時に利用者の体温・体調等を確認するとともに 家族の健康状態も確認する等、感染予防 事業項目実績

努めます。

や健康管理に努めている。利用者が体調 不良の時には、家族やケアマネに状況報 告し対応した。

4 事故防止対策について

事故を未然に防ぐため危険箇所等を事前に把握し定期点検を実施する。

毎月、法人主催の事故防止委員会に参加し、危険箇所等の定期点検を実施した。 また、毎朝のデイサービスセンター職員 ミーティングで、事故防止に向けた留意 事項を伝達した。

5 感染症対策について

感染対策委員会の決定事項に基づき感染者情報 の報告、感染予防対策、感染拡大防止に努める。 法人が開催する「感染症対策委員会」 に出席し、道内・胆振管内・近隣市町村の 感染情報を共有するとともに町内や各事 業所の発生状況を情報収集した。また、各 事業で感染症が発生している場合は、委 員会から提示される予防策を遵守する 等、委員会と連携を図り感染予防に努め た。

デイサービスセンターは、家庭と直結しているため町内で発生する感染症に直接影響を受ける危険性があることから、職員一人一人が慎重な行動を取り感染防止に努めた。

6 業務・ケアマニュアル検討会議の開催 各種ケアマニュアルについては、利用者状況の変 化やADLの状態に合わせて見直す。

利用者の状況変化等に応じて、各種ケアマニュアルの見直しを行った。

## 7 家族との連携

- (1) 定期的な情報交換
  - ① 送迎時に利用者の状況について、ご家族等と情報交換を行う。

送迎時に利用者の心身状態について本人 及び家族に健康状態等を確認した外、利用

事業項目	実 績
	時に懸念される行動等が見受けられた場合は、家族に詳細を伝えた。
② 独居利用者については、別居家族等に必要な情報を提供する。	独居利用者については、別居家族等に 必要な情報を提供した。
<ul><li>8 関係機関との連携等について</li><li>(1) 地域包括支援センター等との連携</li><li>① 地域ケア会議等へ参加し情報交換等を行う。</li></ul>	令和7年3月26日(金) 自立支援型地域ケア個別会議キックオフ ミーティング
② 運営推進委員会(6か月1回)を開催する。	第1回運営推進会議 令和6年9月24日 開催 第2回運営推進会議 令和7年3月27日 開催
③ 介護サービス等事業充実支援事業 ※今年度より事業開始	利用者向け実施状況 6月24日(月)、7月18日(木) 8月27日(火)、9月27日(金) 10月23日(水)、11月18日(月) 12月20(金)、1月21日(火) 2月26日(水)、3月6日(木) 職員向け振返り実施状況
	7月9日、8月6日、9月6日 10月11日、11月7日、12月10日 1月7日、2月6日、3月4日、 職員の実施状況の確認 実施日:令和7年3月27日(木) 総評日:令和7年3月28日(金)

	実 績
7 / 1	7, 19
<ul><li>9 地域交流</li><li>(1) 地域行事への参加</li><li>① 利用者の希望に応じて、地域で開催される 行事に参加する。</li></ul>	令和6年度 厚真町文化祭へ作品を出展
(2) ボランティアの受入れ 今年度よりボランティアの受入れを再開し、 あゆみ会の方にデイサービスの行事にボラン ティアで来て頂いております。	[実施状況] クリスマス会 令和6年12月23日(月) 3名 12月24日(火) 3名
	ひな祭り 令和7年 3月 3日(月) 2名 3月 4日(火) 2名
10 外出支援 利用者の意向に沿った外出支援に努める。	利用者の意向を確認し、利用時間内で可能な外出支援を次のように実施した。
	[実施状況] 5月 桜見学(安平町鹿公園) 菜の花見学(安平町菜の花マッ プ)
	6月 外出デイ(道の駅あびらD51 ステーション)
	8月 外出デイ (道の駅ウトナイ湖)
	10月 外出デイ(むかわ道の駅)
	11月 厚真町文化祭見学 紅葉ツアー (厚幌ダム)
	12月 厚南デイサービスとの交流会
	3月 厚南デイサービスとの交流会

実

施設名 厚南デイサービスセンター

事業項目

### **学**(1) イク こ/ こ マク

## 1 事業方針

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域での在宅生活を継続するためのサービスを提供し、利用者が自分らしく生き生きとした生活が出来るように様々な援助を行ってまいります。

障がいや発達に特性のある児童が高齢者と交流しながら社会性を身につけ、心身の成長を健全に促す支援に取り組みます。

## 2 重点目標

- (1) 通所、第1号通所事 業の提供
  - ① 通所介護計画及 び第1号通所介護 計画書作成、サー ビスの提供

利用者ひとりひとりの意向や思いを汲み取り、デイサービスの利

績

用によってより良い生活が出来るよう通所介護・第1号通所介護計画を作成し、個別ケアを実践していけるように努めた。

共生型放課後等デイサービス「みんぐる」については、障がいや発達に特性のある児童が自由にのびのびと自分らしく過ごしていただくよう自主性を尊重した自由な環境づくりに配慮しながら、学習支援や集団生活への適応支援、高齢者と児童の交流など良質なサービス提供に努めた。

また、北海道厚真福祉会の経営理念である、利用者の自己選択と決定を尊重し、個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサービスを 提供する事に努めた。

- ・利用者の意向に沿った通所介護計画書及び第1号通所介護計画書を 策定しサービスを提供した。
- ・新規利用者の情報収集及びサービス担当者会議で情報収集と提供を 行った。

サービス担当者会議出席(計画作成数)

月	件数	備考
4月	7件	(会議参加者数)
5月	5件	4~7名参加
6月	6件	(ご家族、ご本人、あつま居宅支援事業所、
7月	8件	ほのぼのライフケアあつま、地域包括支援セ
8月	6件	ンター、フランスベッド、マルベリー、マル
9月	6件	キタ家具センター等職員)
10月	5件	
11月	3件	
12月	5件	

事業項目			実績		
	月	件数	備	考	
	1月	5件			
	2月	6件			
	3月	7件			
	合計	6 9件			
(2) 障がい児通所支援 事業の提供 ① 個別支援計画書 作成、サービスの	者の意向に ・相談支援事 者もイメー ・個別支援計	<ul><li>二沿った個別</li><li>事業所と連打</li><li>一ジできるが</li><li>一画書の策算</li></ul>	成するサービス等利用記 別支援計画書を作成し、 集しながら、個別到達即 利用計画を行った。 でにあたっては、児童発 ・生活」「運動・感覚」	、サービスを目標の整合性	を提供した。 E、児童・保護 ドライン等に
提供	コミュニク 支援を提供 ・サービス提 機関と連携 ・学校に通う	アーション。 せすること: と供に関しで 等を図った。 うことができ	「人間関係・社会性」 を基本として作成した。 ては、児童の特性に合わ	の視点を含めて保護者	めた総合的な
(3) 個別ケアへの取り 組み	・ミーティン に取り組ん		日誌・会議録にて情報の	)共有を図り	、チームケア
① 利用者個別理解		-	)入れ利用者自身が自己	3選択・自己	決定できる個
	別、グルー	ーブ活動の	充実に努めた。		
	・利用者の身	す体機能に	対応した個別機能訓練	を実施した。	
	・児童の特性	生に対応し;	た支援を実践した		
② 個別・グループ	(アクティヒ	ごティ活動?	実施状況)		
活動への取り組み	月		活動内	容	
	4 脳	トレ・ピン	ポン缶・折り紙・オセ	ロ・ボーリン	ノグ
	741 7		ゴールゲーム・スカッ	•	
			ミノ倒し・塗り絵・ス		
	7 脳	トレ・塗り	会・ストラックアウト	・パズル・	トランプ

事 業 項 目		実 績
	月	活動內容
	8	脳トレ・塗り絵・ボーリング・迷路・風船バレー
	9	脳トレ・方言かるた・折り紙・熟語合わせ・トランプ
	1 0	塗り絵・脳トレ・俳句・川柳づくり・ボーリング
	1 1	俳句川柳づくり・脳トレ・塗り絵・ゲーゴールゲーム
	1 2	脳トレ・俳句川柳づくり・スカットボール・ボーリング
	1	俳句川柳づくり・脳トレ・ボーリング・塗り絵
	2	俳句川柳づくり・カレンダーづくり・塗り絵・折り紙
	3	脳トレ・俳句川柳づくり・塗り絵・折り紙・スカットボール・
		カレンダー作り

・調理レクリエーションでは、高齢者と児童が協力し、食材を混ぜて焼いての一連の調理をして、出来上がりを皆さんで食べた。

(調理レクリエーション)

実 施 日	活動内容
4月10~12日	草餅づくり
5月8~10日	柏餅づくり
6月12~13日	どら焼きづくり
9月11~13日	カボチャ・イモ塩煮
10月16~19日	カボチャのいとこ煮
11月6~9日	イモ団子のお汁粉

③ 介護サービス 充実支援事業の 実施

③ 介護サービス ・理学療法士による機能訓練体操の実施

実 施 日	体 操 内 容	
7月24日	利用者の全身の機能訓練	
9月9日	転倒予防体操・口腔体操	
10月11日	タオル体操①	
11月8日	ペットボトル体操	
12月16日	タオル体操②	
1月28日	ハチマキ体操	

事業項目	実績
④ 満足度調査の 実施	<ul> <li>・実施日:令和7年2月1日~2月28日(無記名調査)</li> <li>・対象者:40名中30名回答(回答率75%)</li> <li>・結果:満足76%、やや満足5%、普通8%、やや不満1%、</li> <li>・評価:今回のアンケートでは、高齢者の方々からは、昼の静養中に児童が少し騒がしいとの声もありましたが、多くの利用者は広い心で受け入れてくれています。引き続き、厚南デイサービスセンターが1つの大きな家で利用者の皆さんが家族のように過ごせるよう良質なサービス提供をしていきます。</li> </ul>
(4) 健康管理について	<ul> <li>・新型コロナウイルス感染症対策として、毎回の利用時に検温、体調確認し感染予防に努めた。</li> <li>・健康で元気に過ごすための体力や免疫力を維持するため、利用者の身体機能に対応した機能訓練・体操・活動等で筋力づくりを積極的に勧めた。</li> <li>・通院、治療、処方薬状況、自宅環境などの情報収集に努めた。</li> <li>・利用毎のバイタルチェック及び体調の把握に努めた。</li> <li>・主治医、看護師への情報提供に努めた。</li> <li>・利用者に対し健康講座を実施。</li> <li>6月19日~21日 「隠れ脱水にご用心」</li> <li>10月30日~11月1日 「口腔ケアについて」</li> <li>・インフルエンザ予防接種について文書で利用者や家族に通知(10月)。</li> <li>・ノロウイルスについて対策方法を職員に周知させ利用者や家族にも</li> </ul>
(5) 事故防止対策につ いて	文書で通知(11月)。  ・ヒヤリハット・インシデント・事故発生時に検討会議をし、同じ事故の防止に努めた。 インシデント 4件 事故 1件 ・インシデント、事故について職場研修を実施した。 4月29日(デイ会議後)、10月25日(デイ会議後)、1月29日(デイ会議後)、 ・法人の事故防止委員会に参加した。 ・危険箇所の安全点検を適宜実施した。

事業項目		実 績	
<ul><li>(6) 感染症対策について</li></ul>	<ul> <li>・利用者ごとに身体状況の現状を評価し事故防止に努めた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策として毎月の懇談会及び文書で利用者や家族に周知し、毎回の利用時に検温、体調確認し感染予防に努めた。</li> <li>・感染症対策委員会で決定した感染予防対策を講じた。</li> <li>・法人の感染症対策委員会に参加した。</li> <li>・感染時期の感染予防の強化(うがい、手洗いの徹底・マニュアルの確認)に努めた。</li> </ul>		
(7) 業務・ケアマニュ アル検討会議の開催	・各種マニュアルの確認、見直しの職場研修を実施した。 ・施設内の研修に参加しサービスの質の向上に努めた。 ・月1回のデイ会議で業務の見直しを行った。		
(8) 施設内外研修	・令和6年度施設内外研修計画に沿って研修会に参加する等サービス向上に努めた。 (施設内研修)		
	月	研修内容	
	6	機能訓練に取り組む動機づけについて	
	7 アンガーマネジメントについて		
	8 マナーの 5 原則について		
	9 言葉遣いについて		
	11 笑いの力について		
	1	日胆地区老人福祉施設職員研修会・職員研修報告	
	2	胆振圏域福祉人材講座プログラム1,2・職員研修報告	
	3	入浴介助研修	
		強度行動障がい支援について・職員研修報告	
	(外部研	F修)	
	月 研修内容		
	1 1	日胆地区老人福祉施設職員研修会	
	1 1	虐待・不適切ケアを防ぐサービスマナー	

強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修) 胆振圏域福祉人材育成講座プログラム1

「重度知的障がい・自閉症への具体的な支援方法と事例」

事業項目		実	績
	月	研 修	内 容
	2 胆振	圏域福祉人材育成講座プロ	コグラム 2
	「報	a 酬改定の狙いと障がい福	<b>业サービス運営課題</b> 」
(9) 家族との連携	・送迎時に検	温・体調やデイでの状況等	<b>幹を口頭、手紙、連絡ノートに</b>
	て情報提供	を実施した。	
	• 独居利用者	の家族への情報提供を実施	正した。
	・令和7年3	月26日・27日に家族懇	器談会を開催した。
	(参加家族)	3月26日 6名参加	
		3月27日 6名参加	
	・共生型放課	後等デイサービスみんぐる	るの保護者とケアパレットのラ
	インで連携	し、児童利用時の活動状況	2を写真添付し連絡した。
(10) 関係機関との連携		ネと連携しサービス担当者	
等について		ネとの連携を密にして情報	
		・第1回運営推進会議は、	
	<ul><li>・令和7年度</li></ul>	・第2回運営推進会議は、	令和7年3月12日に開催。
(11) 地域交流	(地域交流)		
	実施日	活動内容	協力団体
	5月20日	花壇植樹・花壇整理	あゆみ会 (9名)
	7月11日	けん玉ケンちゃん・	教育委員会
	1 / 11	けん玉大会	10.10.00.00
	8月19日	そうめんビンゴランチ	上厚真ランチ交流会
	0 /, 10 //	交流会	厚南児童クラブ
	8月24日	ならやまマルシェ交流	あつまるカフェ
		(厚北地域防災コミュ	(株)おでん
		ニティセンター)	ならやま
			社会福祉協議会
	8月28日	いきいきサポートとの	社会福祉協議会
		交流 「風船バレー」	厚真町自立支援事業
		1	

事 業 項 目		実	績
	実 施 日	活動内容	協力団体
	8月31日	あつま~れイン上厚真	オフィスあっぷろーど
		公園	
	9月4日	福祉体験	児童(6名)
		上厚真小学校4年交流	
	10月7日	けん玉ケンちゃん・	教育委員会
		けん玉大会	
	10月26日	ハロウィンパレード交	厚南子ども会
		流	
	11月 4日	文化祭出品作品交換展	放課後児童クラブ作品と交
		示会	換展示
	12月13日	あつまデイサービスセ	
		ンターとの交流会	
		「風船バレー」	
	12月17日・	「カラオケショー」	吉井さん・角田さん
	23 日・25 日		
	1月7日・	日本舞踊教室かなめ座	児童7名
	11 日	による日本舞踊	
	1月8日   冬のお楽しみ交流会		上厚真児童クラブ
		「リズム遊び&和太鼓	放課後子ども教室
		演奏」	あつま元気クラブ
	1月29日	「へそ踊り・田舎まつ	あゆみ会
		り音頭」	
	2月24日	日本舞踊教室かなめ座	児童 12 名
		による日本舞踊	
	2月25日	「カラオケショー」	吉井さん・角田さん
	28 日		
(11) 苦情の状況	<ul><li>無し</li></ul>		
(12) 外出支援	(外出支援)		
	実 施 日	活動内容	場所
	4月29日	町内桜見学ドライブ	軽舞・ルーラルビレッジ

	Г		
事業項目			
	実 施 日	活動内容	場所
	6月15日	あつまるマーケット見学	福祉会館
	10月26日	あつまるマーケット見学	福祉会館
	11月2日	文化祭出品作品見学	厚南会館
	11月23	買い物外出	ウトナイ三星店
	~27目	「三星買い物」	
(13) その他			
(13) ての他		報訓練、避難訓練、消火訓練	東を実施した。
	(7月16日・2		
	・洪水想定による 	避難訓練を実施した。(10	)月14日)

# 施設名 あつま居宅介護支援事業所

施設名 あつま居宅介護支援事	事業所
事 業 項 目	実 績
事業方針 ・ 安心して在宅生活を 継続でき、最後までそ の人らしく生活できる よう支援する	<ul><li>・ 住み慣れた地域での在宅生活継続と、その人らしい生活ができるよう本人の思いを重視した支援に努めた。</li></ul>
<ul><li>利用者の自立支援及び家族の介護負担軽減</li></ul>	・ 法令遵守、公平・適正なサービス提供による自立支援、介護負担軽減に努めた。
<ul><li>関係機関との連携、よりよいサービスの提供</li></ul>	<ul><li>サービス事業所、他機関等との連携強化でより良いサービスの 提供に努めた。</li></ul>
重点目標 ・ 居宅介護支援の充実	<ul> <li>(1)契約数(令和7年31日現在) 担当上限 44件 担当 43件(うち新規 22件)</li> <li>(2)居宅サービス計画の作成 新規、更新、変更時に作成</li> <li>(3)サービス提供のモニタリング 毎月実施</li> <li>(4)介護保険給付管理および請求事務 毎月実施</li> <li>(5)要支援認定者の受託業務実施 3件</li> </ul>
・サービス事業所・他機関等との連携強化	<ul> <li>(1)サービス事業所 新規、更新、変更時等にサービス担当者会議を開開催し、適 宜情報交換を行った。</li> <li>(2)医療機関 医療機関の相談員等と電話連絡し情報交換を行った。</li> <li>(3)地域包括支援センター 新規利用、介護度変更時の引継ぎ他を行った。困難事例に関 する情報共有及び報告、検討を行った。</li> <li>(4)民生委員 独居、老夫婦世帯の状況等に関して適宜連携した。</li> </ul>

事業項目			
・研修会への出席	実施日	研修名	開催地
	7月8日	令和6年度 北海道虐待防止推進研修 会【管理者編】	札幌市
	7月20日	高齢者等の地域ケアを進める会 令和5年度総会	苫小牧市
	9月12日	令和6年度 長寿社会開発センター研 究セミナー	オンライン
	9月17日	令和6年度 高齢者支援のための情報 交換会	安平町
	9月25日	令和6年度 看取りケース事例検討会	オンライン
	10月19日	北海道介護支援専門員協会 第1回 胆振ブロック研修会	オンライン
	11月12日	令和6年度 地域ネットワーク会議	オンライン
	11月11日	令和6年度 ケアマネの集い	厚真町
	11月14日	令和6年度 東胆振3町研修会「認知 症高齢者の支援について」	むかわ町
	11月15日	令和6年度 厚真町重層的支援体制整 備事業 講習会	厚真町
	12月13日	令和6年度 第1回ケアマネカフェ 東胆振編	厚真町
	3月14日	令和6年度 第2回ケアマネカフェ 東胆振編	むかわ町

事	業	項	目	実 績